

あしきた

1

<http://www.ashikita-t.kumamoto-sgn.jp>

2006.1.15 No.13

新年の陽光降り注ぐ

(撮影：1月1日 御立岬公園)

元日の御立岬公園には、大変寒い中、朝早くから多くの人が集まり、高台の星の里広場では、約30人の家族連れなどが東の空を見守りました。7時46分、東の山から初日が顔を出すと、手を合わせ拝む人やカメラのシャッターを切る人などさまざまな光景が見られ、その冷えた体に新年の暖かい日の光が降り注ぎました。

でございます



芦北町長 竹崎 一成

あけましておめでとございます。

皆様には、希望に満ちた新春を健やかにお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年1月1日合併により新生「芦北町」が誕生し、順調に発進することができましたことは、芦北町議会をはじめ町民皆様の御理解の賜と衷心より感謝申し上げます次第であります。

新世紀初頭に当たり、少子・高齢化、国際化、高度情報化社会等を背景として、地方分権における三位一体の改革が具現化されつつある中、人々の価値観やライフスタイルも多様化し、市町村を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。このような新たな時代の要請にこたえるべく、旧田浦・芦北両町は、合併という道を選択したところであります。

今年は、合併2年目を迎え、合併が必ずしもバラ色の未来を保証するものではありませんが、合併という大義に基づき、先人の築き上げた歴史・文化・伝統をもとに、郷土愛に満ちた「個性の光る活力あるまち」の実現と、将来、「あの時合併してよかった」と子孫に誇れる新未来づくりに向け、生新の気を持って全力を傾注してまいります。

どうか、町民の皆様には、今後とも町政万般に亘り御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年一年が町民の皆様にとって、輝かしい年になりますことを祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。





芦北町議会議長 大丸 清光

あけましておめ

あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

本町は、昨年1月合併により新町行政が施行となり、これまで町民皆様のご協力の下に、関係機関の積極的な対応と町執行部の努力により、議会も本町の重要議案を審議・決定し、町行政事務の基礎づくりが順調に推移しておりますこと、心から感謝を申し上げます。

さて、行政におきましては、地方財政構造を大きく変える「三位一体改革」が推進されています。人口減少到来に対応する分権型社会へのシステム転換が求められ、行政改革の推進は避けて通れない状況であります。現在、少子・高齢化社会に直面した課題の中で、社会保障制度や教育等の現施策の維持は難しい局面が予想されます。更に「安心・安全」の住環境の確保並びに環境問題やまちづくり等についても、自ら創意工夫が求められる、まさに行政の真価が問われる時代と言っても過言ではありません。

議会は、民意の反映が失われることのないよう鋭意努力し、この将来像を見据えた中で、行政、議会、住民が一体となり、新生「芦北町」の更なる飛躍・発展を目指して力強く歩む決意を新たにし、最善を尽くす所存であります。

最後に、町民の皆様のご健康で幸多い年でありますこと、心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

第1回大会の優勝を目指して

新町発足記念 芦北マラソン大会

12月11日、第1回芦北マラソン大会が、佐敷中学校グラウンドをスタート・ゴールに開催されました。

新町発足を記念して行われたこの大会には、町内の小・中学生など約400人（中学生253人、小学生148人、一般11人）が参加。記念すべき第1回大会の優勝を目指し、3km、5kmの4部門で健脚を競いました。

開会式では、選手を代表して湯浦小学校6年生の井川宏紀くんが「最後まで走りぬくことを誓います」と力強く宣誓しました。準備体操の後、中学生と小学生の組に分かれて一斉にスタート。会場に詰めかけた保護者や沿道で応援する人たちから大きな声援が送られました。また、小学生の組には、同で行われた陸上競技教室の講師・片岡純子さんも参加。子供たちと一緒に3kmのコースを快走しました。



優勝を目指しスタートを切る選手



各部門の入賞者は、次のとおり（敬称略）

◇中学生男子5km

優勝	釜 貴裕	（湯浦中2年）	<17分35秒>
2位	本田 健士郎	（湯浦中2年）	<17分45秒>
3位	山崎 智雄	（湯浦中3年）	<17分47秒>
4位	荒川 晃	（湯浦中3年）	<17分57秒>
5位	岩間 遼祐	（湯浦中1年）	<18分08秒>
6位	大矢 啓一朗	（湯浦中3年）	<18分44秒>

◇中学生女子3km

優勝	磯 美鈴	（湯浦中2年）	<11分07秒>
2位	白坂 優佳	（湯浦中3年）	<11分52秒>
3位	緒方 麗華	（湯浦中1年）	<12分05秒>
4位	宮森 由佳	（佐敷中1年）	<12分11秒>
5位	福浦 ゆかり	（湯浦中1年）	<12分16秒>
6位	釜 美鈴	（湯浦中1年）	<12分22秒>

◇小学生男子3km

優勝	井川 宏紀	（湯浦小6年）	<10分59秒>
2位	宮崎 希	（湯浦小6年）	<11分03秒>
3位	山下 翔太	（湯浦小6年）	<11分34秒>
4位	丁 将広	（佐敷小6年）	<11分57秒>
5位	宮本 広樹	（佐敷小6年）	<12分02秒>
6位	鳥江 拓海	（内野小4年）	<12分19秒>

◇小学生女子3km

優勝	岡田 沙綾香	（田浦小4年）	<12分39秒>
2位	入江 未来	（田浦小5年）	<13分12秒>
3位	上田 千穂	（佐敷小4年）	<13分21秒>
4位	谷口 紗耶	（田浦小4年）	<13分35秒>
5位	鎌本 優理子	（佐敷小5年）	<13分37秒>
6位	鎌木 由佳	（佐敷小6年）	<13分40秒>

※一般は、オープン参加

町民体育祭

◇ゴルフ大会 12/11

（球磨カントリー倶楽部）

【団体の部】

優勝	佐敷体協
2位	田浦体協
3位	湯浦体協
4位	大東体協

【個人の部】

優勝	吉野 公博（田浦体協）
2位	松村 八郎（田浦体協）
3位	向大野宗宏（佐敷体協）
4位	淵上 猛彦（佐敷体協）
5位	中原 豊徳（佐敷体協）
6位	白菊 茂（大東体協）

上田浦が初優勝 ～甘夏駅伝競走大会～

11月26日、田浦地域伝統の甘夏駅伝競走大会が、田浦運動場をスタート・ゴールに開催されました。

大会は今年で22回目。合併後初となる大会には、田浦地域の6チームが参加し、18区間35.3kmを力走しました。

序盤は、上田浦地区と町地区が激しいトップ争いを繰り広げましたが、中盤以降上田浦地区が抜け出し、そのままトップでゴール、初優勝を成し遂げました。

上位の結果は次のとおり

優勝	上田浦地区	2時間17分43秒
2位	田浦1・2地区	2時間22分07秒
3位	小田浦地区	2時間27分04秒



初優勝の上田浦地区

12月のできごと

12/
3~4

芦北の特産品が勢揃い

芦北地域特産品まつりin大野

大野温泉センターで芦北町観光協会主催の芦北地域特産品まつりが開催されました。

会場には、野菜や農産物加工品のほか、エビなどの海産物を販売するテントが軒を連ね、温泉客や買物客など多くの人出で賑わいました。

期間中、ちょんかけゴマ、和太鼓、三味線などがステージで披露されたほか、ぜんざいやおでんの早食い大会、丸太切り競争など多彩な催しも行われました。



揚げたての天ぷらを買求める買物客

12/
11

子どもの体力向上キャンペーン

陸上競技教室（長距離）

佐敷中学校グラウンドで、1時間走日本記録保持者の片岡純子さん（チーム ミズノアスレティック所属）を招いて芦北町陸上競技教室（長距離）が開催されました。

教室には町内の小・中学生約200人が参加。参加者は、基本的な準備体操、ストレッチ、走るときの基本動作などについて実技を交えながら学びました。

片岡さんは自分の経験を踏まえながら「小・中学生のころに基本を身に付けることが大切です。基本動作は地味な作業で面倒ですが、何か1つでも毎日続けて基本を身に付けてください」と話されました。



片岡さんの指導に聴き入る参加者

12/
15

収穫できたことに感謝

大野米収穫祭

大野小学校で、カンボジア学校建設募金金としてつくった大野米と地元農産物に感謝しようと、収穫祭が行われました。

会場となった同校体育館には、児童、農協、国際交流協会などの関係者約100人が集まり、自分たちの手でつくった米をおにぎりにして味わいました。また、この日は、地産地消を子供たちにも理解してもらおうと、太刀魚のみりん干し、大野産野菜を使用した具だくさんの豚汁、みかんなどが用意されました。

小学校との交流事業で招待された大野保育所の園児9人も参加し、お兄さん、お姉さんにつくってもらったおにぎりをおいしそうに味わっていました。



8升の大野米もあっという間に

12/
24

生の音楽を子供たちに

クリスマスピアノコンサート

クリスマスイブのこの日、子育て支援センター（田浦保育所）でクリスマスピアノコンサートが開催されました。

会場となった遊戯室には、約100人の親子が集まり、ピアノ教室の講師を務める柳田真紀さん（高岡北）の演奏に聴き入りました。

「乙女の祈り」「エリーゼのために」など8曲が演奏され、「小さな世界」が演奏されると子供たちも一緒に歌い、ピアノの奏でを楽しみました。

そのほか、園児による合奏や、お母さんたちによるミュージックベルが披露され、参加者はクリスマスイブの楽しいひとときを過ごしました。



ピアノにあわせて歌う子供たち

町県民税申告のお知らせ

平成18年度町県民税は、平成18年1月1日に住民登録がある方に、平成17年中の所得に対して課税されますので、申告が必要な方は、**平成18年2月16日（木）から3月15日（水）**までに必ず申告してください。

なお、確定申告書を税務署へ提出される方は、町県民税申告をする必要はありません。

◆申告が必要な方

給与収入がある方のうち

- 2か所以上から給与を受けている方
- 年末調整が済んでいない方
- 農業や生命保険満期受取金等の給与以外に収入がある方
- 医療費控除・寄付金控除を受ける方

公的年金等の収入がある方のうち

- 公的年金等以外に収入がある方
- 公的年金等の支払額から、所得税が源泉徴収されている方
- 平成17年中の公的年金等の収入が、65歳以上で153万円以上、65歳未満で103万円以上の方

農業・林業・漁業又は個人で

事業を営んでいる方のうち

- 確定申告書を税務署へ提出されない方

不動産収入や生命保険満期受取金など、給

与・公的年金等以外の所得がある方のうち

- 確定申告書を税務署へ提出されない方

◆申告に持ってくるもの

- ① 印鑑（認め印）、申告案内文及び申告書
- ② 所得がわかるもの（源泉徴収票・収支計算書・必要経費の領収書等）
- ③ 社会保険料・生命保険料・損害保険料等の所得控除の書類
（確定申告をされる場合は、国民年金保険料控除証明書の添付が必要です。）
- ④ 医療費控除を受ける場合は、領収書と保険で補てんされた金額がわかるもの
- ⑤ 所得税の還付申告をされる場合は、預貯金通帳の口座番号がわかるもの

※お問い合わせは、役場税務収納課住民税係（本庁舎） ☎82-2511（内線121）
田浦基幹支所住民総合班 ☎87-1111（内線117）

平成18年度町県民税申告受付日程表

2 月				3 月			
日	対象地区	場 所	時 間	日	対象地区	場 所	時 間
16(木)	上原・高田辺・海路・内木場・藤瀬	東部保健福祉センター (旧吉尾中学校)	午前9時30分から正午	1(水)	田川・桑原	社会教育センター2階大研修室	午前9時30分から正午
	吉尾・市居原		午後1時から午後4時		道川内西・道川内東・乙千屋		午後1時から午後4時
17(金)	永谷・黒岩・大岩2	東部保健福祉センター (旧吉尾中学校)	午前9時30分から正午	2(木)	八幡・宮浦	社会教育センター2階大研修室	午前9時30分から正午
	岩屋川内・大岩1		午後1時から午後4時	3(金)	福浦・沖・女島西・平生	本庁舎3階大会議室	午前9時30分から正午
18(土)	休 み				花西		午後1時から午後4時
19(日)				休 み			
20(月)	海浦1	農村環境改善センター 2階農事研修室	午前9時30分から正午	5(日)	休日受付・納税相談	本庁舎1階・田浦基幹支所1階	午前9時から午後4時
	海浦2		午後1時から午後4時	6(月)	高岡北・高岡南・古石北・古石南	きずなの里トレーニング室	午前9時30分から正午
21(火)	田浦町1・田浦町2	農村環境改善センター 2階農事研修室	午前9時30分から正午		湯南		午後1時から午後4時
	田浦町3・田浦町4		午後1時から午後4時	7(火)	米田・丸山・豊岡	きずなの里トレーニング室	午前9時30分から正午
22(水)	横居木・田浦3・田浦4	農村環境改善センター 2階農事研修室	午前9時30分から正午		湯東・湯北		午後1時から午後4時
	田浦1・田浦2		午後1時から午後4時	8(水)	大川内西・大川内東・大川内南	きずなの里トレーニング室	午前9時30分から正午
23(木)	波多島・井牟田1・井牟田2	上田浦地区社会教育センター	午前9時30分から正午		湯南団地・宮崎		午後1時から午後4時
	24(金)		小田浦5・小田浦6・小田浦7	農村環境改善センター 2階農事研修室	午前9時30分から正午	9(木)	白石・東告・西告・塩浸
小田浦1・小田浦2・小田浦3・小田浦4		午後1時から午後4時	天月・白木		午後1時から午後4時		
25(土)	休 み			10(金)	市野瀬・国見	大野出張所2階大研修室	午前9時30分から正午
26(日)				大野	午後1時から午後4時		
27(月)	松生・大尼田・立川	社会教育センター2階大研修室	午前9時30分から正午	11(土)	休 み		
	向町・本町・上町・新町		午後1時から午後4時	12(日)	休日受付・納税相談	本庁舎1階・田浦基幹支所1階	午前9時から午後4時
28(火)	伏木氏・花北・諏訪	社会教育センター2階大研修室	午前9時30分から正午	13(月)	鶴木山・計石西・計石東	本庁舎3階大会議室	午前9時30分から正午
	花東		午後1時から午後4時		白岩・芦北		午後1時から午後4時
◆確定申告をされる方へ				14(火)	地区指定なし (申告が済んでいない方)	本庁舎1階・田浦基幹支所1階	午前8時30分から午後5時
				15(水)		本庁舎1階・田浦基幹支所1階	午前8時30分から午後5時
確定申告の相談を各申告会場、役場税務収納課（本庁舎）1階・田浦基幹支所1階で受け付けます。				◆休日受付・納税相談 3月5日（日）、3月12日（日）は、休日受付を行います。 また、納税相談窓口も開設しますので御利用ください。			
◆確定申告をされる方へ				◆夜間申告受付			
				期 間 2月16日から3月15日（土日を除く）			
				時 間 午後6時から午後8時			
				場 所 役場税務収納課（本庁舎）1階・田浦基幹支所1階			

第2回 芦北町音楽祭



(平成17年開催の様様)

■期 日／平成18年1月29日(日)

■時 間／13:00開場 13:30開演

■場 所／芦北町民総合センター(しろやまスカイドーム)

■出 演／八代市立第一中学校、八代市立第四中学校、熊本県立熊本工業高校、専修大学玉名高校、

FIRE STATE Brass & Percussion Corps、芦北町吹奏楽団

■入場料／大人1,000円 小・中・高校生500円

～チケット販売～

教育委員会生涯学習課、芦北町社会教育センター、しろやまスカイドーム、ヘルシーパーク芦北、大野出張所、吉尾出張所

～お問い合わせ～

教育委員会生涯学習課生涯学習係(田浦基幹支所内) 電話 87-1171(内線224・225)



平成17年国勢調査結果速報

【平成17年国勢調査地域別世帯数・人口】

地 域	世帯数	人口総数	男	女	1世帯当たり 人員
田 浦	1,697	5,064	2,414	2,650	2.99
佐 敷	2,387	7,103	3,236	3,867	2.98
吉 尾	399	1,014	485	529	2.55
大 野	576	1,947	894	1,053	3.38
湯 浦	1,984	5,714	2,645	3,069	2.88
合 計	7,043	20,842	9,674	11,168	2.96

平成17年10月1日現在で実施いたしました、国勢調査による芦北町の人口は20,842人(男9,674人、女11,168人)でした。前回(平成12年国勢調査)と比べると1,531人(6.84%)の減少となっています。人口規模は熊本県内62市町村のうち上から20番目。

世帯数は7,043世帯でした。平成12年と比べると73世帯(1.03%)減少、一世帯当たり人員は2.96人となり、ますます核家族化が進んでいます。

御協力いただきました調査の結果につきましては、国、県、町の重要な基礎資料として活用されます。

なお、今回の速報値については、総務省が公表する人口集計と相違する場合があります。調査に御協力いただき大変ありがとうございました。

【芦北町の人口の推移】(H2～H12は、旧田浦町と旧芦北町の合算です。)

年 次	世帯数	人口総数	男	女	1世帯当たり 人員	前回との世帯比較		前回との人口比較	
						増減数	増減率(%)	増減数	増減率(%)
H2	7,080	25,024	11,724	13,300	3.49	△6	△0.09	△1,449	△5.48
H7	7,115	23,744	11,061	12,683	3.30	35	0.49	△1,280	△5.12
H12	7,116	22,373	10,428	11,945	3.11	1	0.01	△1,371	△5.78
H17	7,043	20,842	9,674	11,168	2.96	△73	△1.03	△1,531	△6.84

お知らせ

FRP船リサイクル システム運用開始

日本舟艇工業会では、11月29日に環境大臣から廃棄物処理法に基づく広域認定を受け、FRP（ガラス繊維強化プラスチック）船の廃船リサイクルの運用を開始することになりました。

◇リサイクルの対象

FRPを材料として使用している小型船舶（モーターボート、ヨット、PWC、漁船など）、いわゆる「FRP船」を対象として実施します。

◇リサイクル料金

リサイクル料金は、FRP船の船種（7種類）及び全長（5〜7段階）により分類し設定しました。なお、指定引取場所までの運搬を依頼する場合はリサイクル料金とは別に費用がかかります。

◇登録販売店

県内に6箇所設置。リサイクルの一般的な相談、情報提供、リサイクル料金の

見積り・受付、廃FRP船の一時保管等

※お問い合わせは、

FRP船リサイクルセンター専用

☎03-3561-6929

社会福祉に関する 地域公開セミナー開催

熊本県社会福祉士会第10ブロックでは、芦北・水俣の地域住民の方を対象に、介護保険制度の改正や障害者自立支援法など、社会福祉に関する地域公開セミナーを開催します。

◇期 日 1月28日（土）

◇時 間 13時30分開演

◇場 所 芦北町もやい直しセンター

（きずなの里）

◇参加費 300円

◇内 容

【行政説明】

介護保険制度改正について

【講演】

テーマ 「社会福祉の変遷」

～過去・現在・未来～

講 師 熊本学園大学

社会福祉学部助教

社会福祉士 今吉光弘 氏

※お問い合わせは、

芦北町社会福祉協議会 木川

☎86-10411

無料調停相談会開催

水俣調停協会では、次のとおり無料相

談会を開催します。

◇期 日 2月7日（火）

◇時 間 10時〜15時

◇場 所 水俣市公民館 第1研修室

◇相談員 弁護士、司法書士

調停委員（民事・家事）

◇相談内容

金銭、土地建物、家庭問題、一般法律相談等

※お問い合わせは、

水俣調停協会（水俣簡易裁判所内）

☎62-23007

W・ユージン・スミス& アイリオン・M・スミス 写真展「水俣」

水俣病公式確認50周年プレイベント
ユージン氏とアイリオン氏は、1971年から74年までの3年間、水俣に暮らしながら写真を撮り続け、多くの作品を残しました。

その作品群の中からアイリオン氏の厚意により、水俣病歴史考証館の開館に際して寄贈された写真パネル（オリジナルプリント47点）を展示します。この写真パネルは、国内にも数セットしかない貴重なものです。これまで全国各地で写真展を開催してきましたが、地元での開催は今回が初となります。

◇開催期間 1月19日（木）〜1月24日（火）

◇場 所 きずなの里

◇入場料 無料

※お問い合わせは、

財団法人水俣病センター相恵社

☎63-5800

「一般家庭におけるガソリン・灯油等の取扱について」

ガソリン・灯油等を購入・貯蔵・取り扱うときは次のことにご注意ください。

【購入するとき】

- ①ガソリンは、消防法で定められた金属製の容器（認定品）を使用する。
- ②灯油は、「推奨・認定」の表示がある容器を使用する。

【取り扱うときの注意事項】

- ①貯蔵し、取り扱う場所では、火を使用しない。
- ②貯蔵し、取り扱う場合は、密栓、密封等の措置を講じ、漏れ、あふれ、飛散しないようにする。
- ③容器は転倒したり、損傷を受けたりしないようにする。

【届出等】

一般家庭（営農タンクを含む）において、次の数量を貯蔵・取り扱う場合は、消防署に届出が必要です。なお、（ ）書き以上の数量については、許可が必要です。

ガソリン	1000ℓ以上（2000ℓ以上）
灯油・軽油	500ℓ以上（1000ℓ以上）
重油	1000ℓ以上（2000ℓ以上）

※お問い合わせは、

水俣芦北広域行政事務組合

消防本部予防課危険物係

☎63-11192

「第3回環境&福祉 ビジネスフェア in Kumamoto」開催

環境、福祉、UD関連製品の展示のほか、介護保険の講演会や電気自動車の試乗会なども行います。また、UDファッションショーをはじめとする楽しいイベントも盛りだくさんです。

◇期 間 2月10日(金)～12日(日)

◇場 所 グランメッセ熊本

※お問い合わせは、
熊本県産業支援課

☎096-333-1232

通信制高校生生徒募集

衛星ラジオ放送を使って自宅で学べる通信制課程・放送教育コースで高校が卒業できます。

中学校卒業以上で、学習意欲のある人であれば、年齢を問わず3年間で卒業が可能です。また、2年、3年への転入・編入もできます。

①衛星ラジオの放送講座を聴きながら自宅で学習

②レポートを提出し添削指導を受ける

③月平均2回登校し、授業を受ける

④学期ごとの定期試験を受ける

◇願書受付期間

2月20日(月)～3月30日(木)

※お問い合わせは、
東海大学付属望星高等学校・熊本校
☎096-383-1733

平成18年度第1期 放送大学学生募集

放送大学はテレビ(スカイパーフェクトTV!)を利用して授業を行う正規の大学です。

◇募集期間 2月28日(火)まで

【教養学部】

①全科履修生(4年以上在学し、士を目指す学生)

②選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)

③科目履修生(6か月間在学し、希望する科目を履修)

◇入学料

①2万2千円②8千円③6千円

◇授業料 1単位5千円

◇授業科目 人文・社会・自然・産業等の幅広い分野の科目(約300科目)

◇短期大学・専門学校等から3年次編入学できます(全科履修生)

◇15歳以上であれば、だれでも選科・科目履修生に入学できます。

【大学院】

①修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)

②修士科目生(6か月間在学し、希望する科目を履修)

◇入学料

①1万6千円②1万2千円

◇授業料 1単位1万円

◇18歳以上であれば、だれでも入学できます。

※放送大学熊本学習センターは、平成18年度1学期より熊本大学内に移転します。

※お問い合わせは、

放送大学熊本学習センター

☎096-359-1489

熊本県産業開発青年隊 訓練所男女隊員募集

平成18年度男女隊員募集

◇試験期日 2月9日(木)

◇会 場 (財)熊本県建築技術センター
下益城郡城南町舞原東194

◇試験科目

①学科試験(数学・国語・作文)

②面接試験

◇資格

①県内に居住又は居住しようとする

18歳以上25歳未満の独身者

②高等学校卒業程度の学力を有する者

③心身が健全で全寮制による共同生活に耐え得る者

④全寮制による規則正しい集団生活に耐え得る者

◇募集人員 10人程度

◇募集期間 1月16日(月)～2月3日(金)

◇申込先及びお問い合わせは、

熊本県産業開発青年隊訓練所

☎0964-28-6611

熊本県環境センター 2月開催イベント

【春の七草採取と七草がゆ】
無田湿原やその周辺を散策しながら春の七草を採取し、自然とのふれあい、大切さを学び、七草がゆをいただきます。から参加者と交流します。

◇期 日 2月12日(日)

◇時 間 10時～15時

◇申込期限 2月5日(日)

◇参加料 500円(七草がゆ代等)

◇対象者等 一般、親子(20人)

◇場 所 水俣市石飛地区

※申込先及びお問い合わせは、
熊本県環境センター

☎62-2000

つなぎ美術館展覧会

【遙かな時空のなかで～八葉抄～展】

津奈木町出身のアニメ監督つなぎあきが2004年から手がけている人気アニメ「遙かな時空のなかで～八葉抄～」で使用された原画や絵コンテなど、アニメ製作の現場が分かるさまざまな作品と資料を御紹介します。

◇期 間 2月26日(日)まで

◇観覧料 一般 300円

高・大学生 200円

小・中学生 100円

※お問い合わせは、つなぎ美術館

☎61-2222

お誕生おめでとう

H17. 12. 1～12. 28 受付分



(敬称略)

名 前	出生日	性別	保護者	行政区
板床 奏汰	11.25	男	孝 行	海 浦 2
池田 徹平	11.26	男	康 浩	田 浦 町 3
白奥 奈菜	12. 2	女	等	白 木
長島 零児	12. 2	男	伸 一	新 町
上村 美海	12. 7	女	貴 昭	田 浦 4
松岡 明里	12. 8	女	秀 治	花 岡 東
一地 倅羽	12.20	女	正 貴	花 岡 西

<おわびと訂正>

広報あしがた12月号で掲載した「お誕生おめでとう」の内容に次のとおり誤りがありましたので、おわびして訂正します。

誤 「間柄 令菜」さん → 正 「間柄 令菜」さん

※本町窓口へ届出をされた方で、承諾を得た方を掲載しています。

町外へ提出された方で、掲載を希望される場合は、役場広報係まで御連絡ください。

なお、掲載は町内在住者に限ります。

ご冥福をお祈りします



(敬称略)

H17. 12. 1～12. 28 届出分

死亡日	亡くなられた方	年 齢	行政区
11.30	坂口 正 夫	78	小田浦 2
12. 1	迫本 工三子	81	田 浦 3
12. 1	岩田 ハル子	84	田 浦 町 2
12. 3	永永 千 子	88	田 浦 4
12. 4	永永 保 美	65	大 尼 田
12. 4	福山 ミチヨ	89	大川内南
12. 5	山本 才太郎	81	井 牟 田 2
12. 5	竹下 強 邦 子	86	丸 山 浦
12. 5	鬼塚 重 人	65	宮 浦 1
12. 7	田川 谷 光	75	田 浦 野 1
12. 7	柊草 野 三	97	大 大 岩 一
12. 7	草野 栄 子	80	大 大 岩 一
12. 8	木下 保 郎	77	計 石 西
12. 8	竹本 六 郎	91	田 浦 町 3
12.10	福田 村 穂 子	75	計 石 西
12.11	中村 田 鶴 子	76	湯 浦 北
12.12	村田 井 秀 生	53	計 石 西
12.13	藤井 村 秀 喜	86	平 浦 町 4
12.13	木村 マル 工	75	田 浦 町 4
12.16	峰本 勝 晴	74	宮 浦 南
12.17	橋本 席 ト	72	湯 浦 千
12.18	西倉 本 三 秋	88	乙 天 月
12.19	倉坂 森 收 サ	88	天 市 野
12.22	江邑 勝 秀	89	計 石 東
12.23	江岩 本 チヨモ	36	計 石 東
12.23	岩松 代 シ	65	岩 屋 川 内
12.24	福川 上 タ	95	松 福 生
12.24	川上 ツギ子	86	福 井 牟 田 2
12.26	橋本 和 行	74	井 牟 田 2
12.27	江口 ハツミ	58	飯 井 牟 田 2
12.27		63	井 牟 田 2

※本町窓口へ届出をされた方で、承諾を得た方を掲載しています。

人口のうごき (H18. 1. 1 現在)

()内は前月比

人 口	21,577人	(- 14)
男	10,091人	(- 1)
女	11,486人	(+ 13)
65歳以上	7,034人	(- 2)
高齢化率	32.6%	(± 0)
世 帯 数	7,621世帯	(- 5)

※住民基本台帳の登録者数

俳 柳

— 本郷武雄選 —

鈴生りの小柿たわわに冬日浴び

庭隅に熟柿の残骸腐りゆく

吉田 茂

小春日の縁側に剥く吊し柿

田畑 君子

命日の母を偲んでむかご飯

田中ミツオ

底冷や思出あらた開戦日

黒田あきえ

一森 嘉市

短 歌

— 山本則選 —

靖国の庭より移して五十年銀杏の黄葉風に舞い散る

サルビアの花群続く道を行く香い記憶をたぐり寄せつつ

徳永 保人

嬰兒抱きあやす傍ら猫寄りてじっと見つめる膝のあく間を

米良ヤスモ

香を我に届けたるあと木犀の花は根元の地に還りゆく

農頭 圭子

父祖の地に娘の家建つる鍬入れの神事に夫と胸あつく座す

門寺 真弓

加来 道子

— 満田崇子選 —

曾祖母を温め祖母をあたためし亀の湯たんぼ寒き夜は母へ

デジカメに孫の映像おさめ来てプリントしては悦に入る夫

溝口 陵子

コラッジオという店のセーフは母親の作りし皿にパスタ盛りきし

山下 忠子

吹き抜ける師走の風にせかされて八つ手の黄葉音たてて落つ

満田 圭一

鍋焦がす母を叱りし我もまた鍋焦がしおり出勤の前

福田 芳子

竹下由美子

食生活改善推進員の食育レシピ

主食「ジャガ芋もちのお雑煮」

〔材料／1人分〕

ジャガ芋	20g
片栗粉	2g
大根	30g
人参	10g
生椎茸	10g
鶏肉	30g
だし汁	150g
塩	1g（小さじ1/5）
しょう油	3g（小さじ1/2）
酒	3g（小さじ1杯弱）
みつ葉	3g

エネルギー	138Kcal	たんぱく質	7.3g
脂質	3.9mg	塩分	1.5g

（作り方）

- ① ジャガ芋は細かく切り、蒸してつぶす。片栗粉をまぜ、平べったい団子を作る。沸騰した湯の中にそれを落とし、浮き上がった後取り出す。
- ② 大根、人参は花の型に抜き、ゆでて柔らかくする。
- ③ 椎茸をせん切りにする。
- ④ みつ葉を茹でて、2・3本ずつ結ぶ。
- ⑤ 鶏肉を入れて、だし汁をとる。調味料を加えて味を付ける。
- ⑥ 汁碗に①②③④を入れ、⑤を注ぐ。

副菜 トマトカップサラダ

主菜 松風焼き



主食 ジャガ芋もちのお雑煮

汁物 貝だくさんそばがき汁

やわらかくおなごる地域づくりの拠点③

― 芦北町立星野富弘美術館 ―

今回は、芦北町郷土誌「野坂の浦」に寄稿された坂田燦・熊本県立美術館副館長の手記を紹介します。

れ、意義深い活動になるに違いない。

少ない一室をギャラリーに改装したい」と、「それは良いアイデアだ。ぜひ星野富弘さんの詩画作品（リトグラフ）を」と提案した。竹崎町長を初め町職員と、星野さん宅へ同行し、「星野富弘詩画ギャラリー」の趣旨説明と許可のお願いをし、星野さんも快諾。ついに一九九五年にギャラリーを開設した。そして十年間の実績を踏まえた二〇〇五年、「町立美術館を新築して、心にしみる詩画作品を、さらに多くの人に见てもらい、やさしさに出会える町にしたい」という熱意で、独立施設の美術館建設願いが星野さんから、快く許可された。二〇〇六年、ついに芦北町立「星野富弘美術館」開設の運びとなったのである。

全国初の「富弘美術館（群馬県）」姉妹館として

芦北町立「星野富弘美術館」が五月十三日に開館

芦北町で、信じられない！話が本当になった。重度の障害に負けず、口を筆をくわえて詩画をかく星野富弘さん。今や国内は勿論アメリカやブラジル、ワルシャワなどの各地で開催される「星野富弘・花の詩画展」は、いつも超満員で大きな反響を呼んでいる。星野さんの貴重な作品（原画を含めたリトグラフ）の数々を常設展示する芦北町立「星野富弘美術館」が、格別のご厚意で、湯浦に建設される。奇跡である。開館記念展では原画五十点を出品して頂き、その式典とパネルディスカッションには、群馬県から遙々とご本人も出席される予定で、多くの人々に感動と生きる喜びを与えることだろう。

開催のキッカケは、障害者の娘を持つ一母親の感動のひと声。口コミである。当時東京に住む娘さんは、群馬県東村立「富弘美術館」へ数回行ったという。三度目は上京した母親を車に乗せて、山あいを走ること四時間余。心にしみる詩画の数々に涙して鑑賞。帰熊した母親は、高鳴る感動を夫に、そして知人に話した。その母親とは「熊本県立美術館友の会」の会員でもある前知事夫人・福島恭子さん。その声は当館にも伝わって来た。早速、私も富弘美術館へ行っ

た。ペンペン草の詩画をみて目頭が熱くなった。とにかくすごい詩画展。熊本でぜひ開催できないかと、それから再三、星野さん宅へ県障害福祉課職員と同行し、県の福祉行政の熱意を説

明した。一方「私たち障害者のために、こんなに親身になって世話される県職員の願いを実現させて下さい。星野さん、熊本へ絵と一緒に来ませんか」という八代市のNさんの手紙が、星野さんを直撃した。

「雨垂れ石を穿（うが）つ」、官民一体の県の熱意が天に届いた。ついに出品OK！しかも七十五点も。星野さんも奥さんと一緒に来熊、開会式、記念トークに出席された。入館者五万八千人（一日約三千人）の大入り。一人の母親からの感動の波紋は、多くの人々に感動の輪を拡げ、心を洗う企画展となった。その直後、芦北町の湯浦にある温泉施設「ヘルシーパーク芦北」の当時の所長が県立美術館に来館。「施設二階の利用度の

唯一の姉妹館として芦北町立「星野富弘美術館」の誕生は、生涯教育の場として、また福祉行政や学校教育との連携、地方文化振興に、今後大いに期待さ

（中略）



星野富弘詩画「ねこやなぎ」